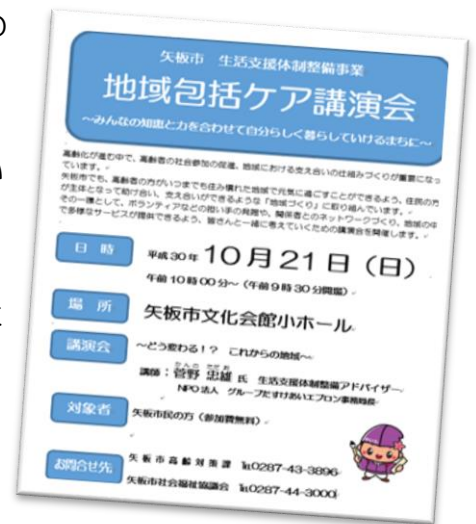


# 矢板市 生活支援体制整備事業 地域包括ケア講演会を開催しました

高齢化が進む中で、高齢者の社会参加の促進、地域における支え合いの仕組みづくりが重要になっており、矢板市でも、高齢者の方がいつまでも住み慣れた地域で元気に過ごすことができるよう、住民の方が主体となって助け合い、支え合いができるような「地域づくり」に取り組んでいます。

その一環として、ボランティアなどの担い手の発掘や、関係者とのネットワークづくり、地域の中で多様なサービスが提供できるよう、皆さんと一緒に考えていくための講演会を開催しました。

## 平成30年10月21日(日)矢板市文化会館小ホール ～どう変わる！？これからの地域～



84名の方が参加されました

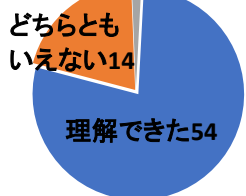


- ・人口構造の変化と将来消滅?が予測される自治体  
⇒ 栃木県では6つの自治体
- ・今後25年間で世の中はどう変わるか？  
⇒ 2025年頃 介護離職者の大量発生 介護職員38万人不足  
認知症患者730万人(高齢者の20.6%)  
2035年頃 人口の3人に1人が高齢者
- ・「肩車型」社会へ  
⇒ 2050年頃には、1人の若者が1人の高齢者支えるようになる
- ・社会参加をして、健康寿命を延ばそう！  
⇒ サロン参加などで、要介護認定率や認知症発生リスクが減少
- ・地域包括ケアシステムとこれからの介護対応、他の自治体の取り組み事例について講演をいただきました。

講師  
生活支援アドバイザー 菅野忠雄 さん

### アンケート結果

#### 講演会内容



#### 勉強会参加



### 【アンケート自由意見】

- ・今後に向けて切実な問題なので、考える場が必要。
- ・目からウロコの状態。参考になった。
- ・地域のために何かしたいと思っている方はたくさんいると思う。
- ・各行政区、シニアクラブで情報の交流会を行い、情報共有化によりレベルを上げていくことが必要。
- ・何をやるか何ができるか、何をしているのか、その情報を共有しなければ何も前には進めない。
- ・講師の話は、ほとんどが新聞等で報じられている。
- ・今頃現状の話をされても手遅れ。
- ・講演内容は、すでに知識としてあった。

今回の講演は、助け合い・支え合いがある「地域づくり」を地域住民の皆さんと一緒に進めるための第一歩として、高齢者を取り巻く現状と今後どうなっていくかをあらためて理解をいただいた上で、協議体設置に向けての地域づくり勉強会への参加をお願いしたいとの思いで開催しました。



矢板市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 只木・川畑・吉田  
電話 44-3000 FAX 43-6661